

～下記の研究を行います～

『75 歳以上の HIV 陽性者の生活状況とサービス利用状況に関する後ろ向き観察研究』

【研究課題名】75 歳以上の HIV 陽性者の生活状況とサービス利用状況に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】織田佳晃

【研究の目的】大阪医療センターに通院中の 75 歳以上の HIV 陽性者の診療録を用いた後ろ向き観察研究を行い、家族やパートナー等のソーシャルサポート、住まい、経済状況などの実際の暮らしに関する実態および、高齢者福祉サービスの利用状況、利用するにあたっての問題点などを明らかにします。

【研究の期間】研究許可日～2022 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

- 1) 2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日に当院を受診した HIV 陽性の患者さん
- 2) 2021 年 3 月 31 日時点で 75 歳以上の患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：

ない

情報：

基礎情報（年齢、性別、居住区域、国籍等）、福祉制度・サービス利用状況（健康保険の種類、年金の種類等）、ソーシャルサポート、経済状況、現状で困っていること、大阪医療センター受診状況、他科受診状況、ADL 等の臨床情報を電子カルテより取得します。

【研究の資金源】

本研究を行うための費用は、令和 3 年度厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究」の中の分担研究「近畿ブロックの HIV 医療体制整備」の研究資金で実施します。

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シオアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器

メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 リサーチ・レジデント 織田佳晃